

令和6年7月

京都市の宿泊税見直しに対する要望書

京都府旅館ホテル生活衛生同業組合
理事長 磯橋 輝彦
京 都 観 光 旅 館 連 盟
会 長 松本 義正
日 本 旅 館 協 会 京 都 府 支 部
支部長 簗下 誠

現在の京都市の観光情勢は、インバウンド需要がコロナ前に戻りつつあるものの、国内需要は戻りが鈍い状況であり、国民の旅行や趣味嗜好がコロナ前と比べて変化したことがうかがえます。先の京都市長選挙においても、各候補者が公約に揃えてきたのが宿泊税であり、これをどのように活用し市政につなげていくのかが論点の一つとなり、オーバーツーリズムの議論も相まって、京都市政の一つの問題点として露呈しています。

一方、当組合においては、コロナ禍の時こそと、アフターコロナを見据え京都市に対して観光インフラ整備を要望したところですが、急激なインバウンドの回復と資材高騰や社会情勢の変化による人手不足によって、コロナ前のような営業ができない施設がほとんどであるのが宿泊業界の実情であります。

また、京都市の未来を考えると、文化庁の京都移転に加え、京都の文化遺産を目掛けたこれまで以上のインバウンド需要によって観光客が増加することは容易に想像でき、今までのような製造業ではなくサービス業に従事する市民の増加が想定されます。さらに、京都を訪れる観光客の快適性が重要視され、世界基準で評価を受ける京都市においては、観光都市としての観光インフラの早急な整備が喫緊の課題となります。

このような状況の中において、宿泊税がどのように徴収され、どのように使用されるかが重要であることから、当組合の懸念と合わせて、ここに要望させていただきます。

本来であれば、京都を訪れるすべての観光客の皆様から、京都観光の向上に向けた整備のための財源をお預かりし、使わせていただくのが本筋であり、日帰り観光客も含めた観光税の検討があるべきところ、寺院神社や交通網による徴税が困難であることを理由に、安易に宿泊者から徴収する宿泊税の増税が検討されているように見受けられます。寺院神社や観光施設、高速道路、公共交通からの徴税も引き続き検討いただきたいと考えております。宿泊業界は様々な問題を抱えており、コロナ禍において最も影響を受けた業種の一つで、観光客の回復が見られてもなお経営の安定には時間を要します。そのため、宿泊事業者としては宿泊税の増税には反対の立場であることをご理解いただきたいと思います。そのうえで、京都市、京都市民、京都観光の発展に寄与するということであれば、致し方なくも我々も身を削る思いで協力していきたいと考えております。

これらを踏まえ、将来にわたって観光客、京都市民が共生できる国際観光都市・京都の実現に向けて、当組合と京都市が共に協力し合える関係を構築するために、以下の点について要望いたします。

【要望項目】

- 1 宿泊税の使途について、国際観光都市・京都の魅力を高め、観光振興に資するものとなっているか不断の検証を行うとともに、目的税としての疑念を生まぬよう、毎年全面情報開示をすること。
- 2 そのうえで、納税者である宿泊観光客の満足度を高め、納得感が得られることはもとより、観光客の増加により負担が増している京都市民にも恩恵が実感できる活用内容とし、市民と観光客、観光事業者の分断を生まぬように努めること。さらに、未来の担い手となる子どもたちへも還元される活用内容とすること。
- 3 これまでと同様、修学旅行の参加者等には税を免除すること。また、今後縮小一途の京都への修学旅行生に対する補助についても検討すること。
- 4 定率制ではなく、定額制を維持すること。
- 5 特別徴収事務を実施している宿泊施設においては、徴収の際に相当の手間と手数料が発生し、宿泊施設がその負担をしていることも多いことを踏まえ、徴収方法、申告・納付方法の改善対策のほか、補助率が3% から2.5% に引き下げられた事務費補助金については、見直しを行うこと。
- 6 宿泊者からだけでなく、日帰り観光客からの徴収として、高速道路、公共交通、寺院神社等を利用する者からの新たな徴収方法についても引き続き検討すること。

令和 6 年 7 月 30 日

京都市持続可能なまちづくりを支える
税財源の在り方に関する検討委員会
委員長 田中 治 様

日本ホテル協会京滋奈支部
支部長 福永 法弘

宿泊税に関する意見書

【宿泊税制度の在り方】

- 税率の見直しを検討されていると聞かすが、既に他の地域に比べて京都市の宿泊税は高い水準となっている。さらなる負担増は納税者の納得を得られないものと危惧される。
- 旅行先としての「京都離れ」につながる怖れがある。また、隣接府県（大阪府・滋賀県など）に宿泊し京都観光をするようなケースが多発すると思料される。
- 税率の見直しは、特別徴収義務者としてシステムの改修・ウェブサイトの改修・パンフレット等の印刷などが必要となる。また、現場の作業負担も増す。コロナ禍によって各社のバランスシートは悪化[※]しており、更に人手不足が深刻化する中での対応は極めて厳しい。（※会員ホテルがコロナ禍で計上した純損失は、49 年分の純利益に相当。【別紙】参照）
- 税率見直しには反対であるが、やむを得ず実施される場合には、「経過措置なし」での実施を希望する（新旧税率が混在すると複雑になり混乱をきたす）。また、事前に相当の準備・周知の期間（少なくとも 1 年以上）を設ける必要がある。
- そもそも、宿泊額に応じた定額制ではなく、宿泊額の多寡にかかわらず、一人当たりいくらの課税（人頭税）とするのが本筋である（観光課題を引き起こしているのは、富裕層も大多数を占める一般低価格帯の客層も同様である。）。
- また、宿泊税ではなく、京都への入境税を検討すべし（徴収方法は、ご当局にて考案願いたい）。

【運用上の課題】

- 特別徴収を行うにあたり補助金をいただいているが、事務作業の負担に加えて、宿泊税支払いに係るキャッシュレス決済（クレジットカード・電子マネー・QR 決済）の手数料も宿泊施設が負担しており、補助金で賄えていない（費用の持ち出しとなっている）のが現状。補助率の見直し、上限の撤廃をお願いしたい。
- 今後、キャッシュレス化が進むとさらに手数料負担が重くなる。また、税率の引き上げを行う場合も、宿泊税の増収によりキャッシュレス決済手数料の負担が増えることが見込まれる。税率の見直しを行うのであれば、同時に補助率の見直しもお願いしたい。

以 上

令和4年7月22日

(別紙)

コロナによるホテル経営への影響

年 度	営業収益計	営業費用計	営業損益	経常損益	税引前当期損益	当期純損益
A 令和3年度(2021) 会員38ホテルの平均	3,520,480	4,954,337	▲1,433,857	▲1,059,566	▲1,185,177	▲1,073,035 (単位:千円)
B 令和2年度(2020) 会員128ホテルの平均	2,384,307	3,800,783	▲1,416,481	▲1,214,988	▲1,584,099	▲1,623,341 (単位:千円)
C 平成22年～令和元年 (10年間の平均)	5,683,223	5,503,912	179,321	159,305	100,676	55,261 (単位:千円)
A/C	0.6	0.9	8.0	6.7	11.8	19.4
B/C	0.4	0.7	7.9	7.6	15.7	29.4
A+B/C	-	-	15.9	14.3	27.5	48.8

⇒ 2年間の純損失は、49年分の純利益に相当。

令和6年7月17日

京都市持続可能なまちづくりを支える
税財源の在り方に関する検討委員会 御中
行財政局税務部税制課 御中

「持続可能なまちづくりを支える税財源の在り方に関する検討委員会」における関係団体ヒアリングにあたり

京都市宿泊税の現行制度においては、「低価格帯の宿における税率の高さ」、「事業者の事務負担の更なる軽減」、等改善されるべき課題がいくつかございます。また、昨今のオーバーツーリズム再来も踏まえて、「市民生活と調和した持続可能な観光都市」に宿泊税が生かされると共に、簡易宿所の負担軽減につながる制度改善をお願い申し上げます。

① 低価格帯の宿における税の負担感の軽減

「定率制の導入」や「税率区分の見直し」

現行制度では、1人3千円の宿では7%、1万円の宿（京都市における平均的な単価）では2%と、その負担感には大きな隔たりがございます。定率制の導入によって公平性が高まると共に、昨今の宿泊料金の上昇が税収増加につながる事も期待されます。「飲食費等を含むパッケージ料金」についても、泊食分離が進んでいる中、定率制の妨げになるケースは減少しているのではないのでしょうか。定率制が難しくとも税率区分の見直しによって負担感の不公平を改善して頂きたいと存じます。

② 観光課題対策の強化に重きを置いた宿泊税の活用

市民の不満感が特に大きい市バスの混雑やごみ問題について、以前推進されていた「前乗り後降り」の導入再開や、スマートゴミ箱の導入など、課題解決に直結する施策に重点的に宿泊税を活用して頂きたいと存じます。

③ 電子申告の利便性向上や OTA 事前決済の推進

「0泊入力」の手間、電話番号・施設所在地・名称等が自動入力されない等、電子申告における利便性を向上して頂きたいと存じます。また Airbnb・Booking.com を除く OTA（仲介事業者）においては、事前決済の際に宿泊税についても10～15%の手数料が発生するため、宿泊税のみを現地決済とせざるを得ないケースも多く、徴収の手間が負担となっております。引き続き OTA への働きかけをお願い致します。

以上



Hostel Association of Kyoto
京都簡易宿所連盟

京都簡易宿所連盟

<https://kyotokanishukusho.jimdo.com>